

# Graduate School of Policy Science New Course

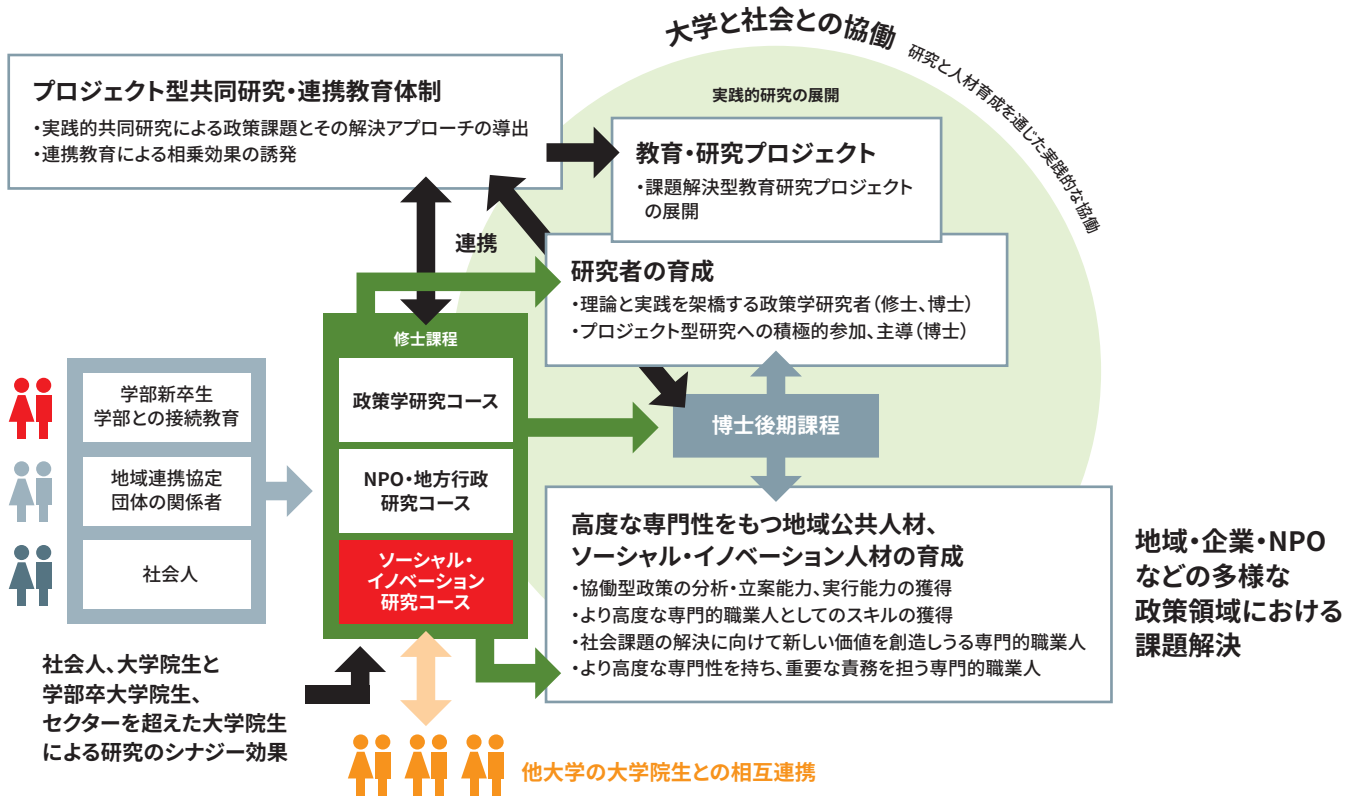


## 政策学研究科 地域公共人材総合研究プログラムに 「ソーシャル・イノベーション研究コース」 を新設

龍谷大学 大学院 政策学研究科は2025年4月に「ソーシャル・イノベーション研究コース」を新たに設置します。  
また、「NPO・地方行政コース」を「NPO・地方行政研究コース」に名称変更し、「政策学研究コース」とあわせて3コース制で幅広い学習機会を提供します。

### ソーシャル・イノベーション研究コースの概要

社会的ニーズを満たすための新たな価値創造を実践的に研究したいビジネスパーソンをはじめとする様々な職業人と、学部卒大学院生とのシナジー効果によって、新しい価値の創造を通じて社会を変革したいという実践的な専門的職業人を養成します。まちづくりやローカルビジネス、イノベーションに関する理論や実践科目のほか、ソーシャル・イノベーション実践演習など革新的な発想によって地域のポテンシャルの新たな活かし方を実践的に研究する科目を学修することで、地域ポテンシャルの発掘と価値創造の力を修得します。



# ソーシャル・イノベーション人材養成プログラム

大学連携型ソーシャル・イノベーション人材養成プログラムとは、龍谷大学が代表校となり、琉球大学、京都文教大学の3大学で文部科学省「人文・社会科学系ネットワーク型大学院構築事業」に共同申請したプログラムのことです。2023年9月に私立大学が代表校を務める唯一のプロジェクトとして採択されました。

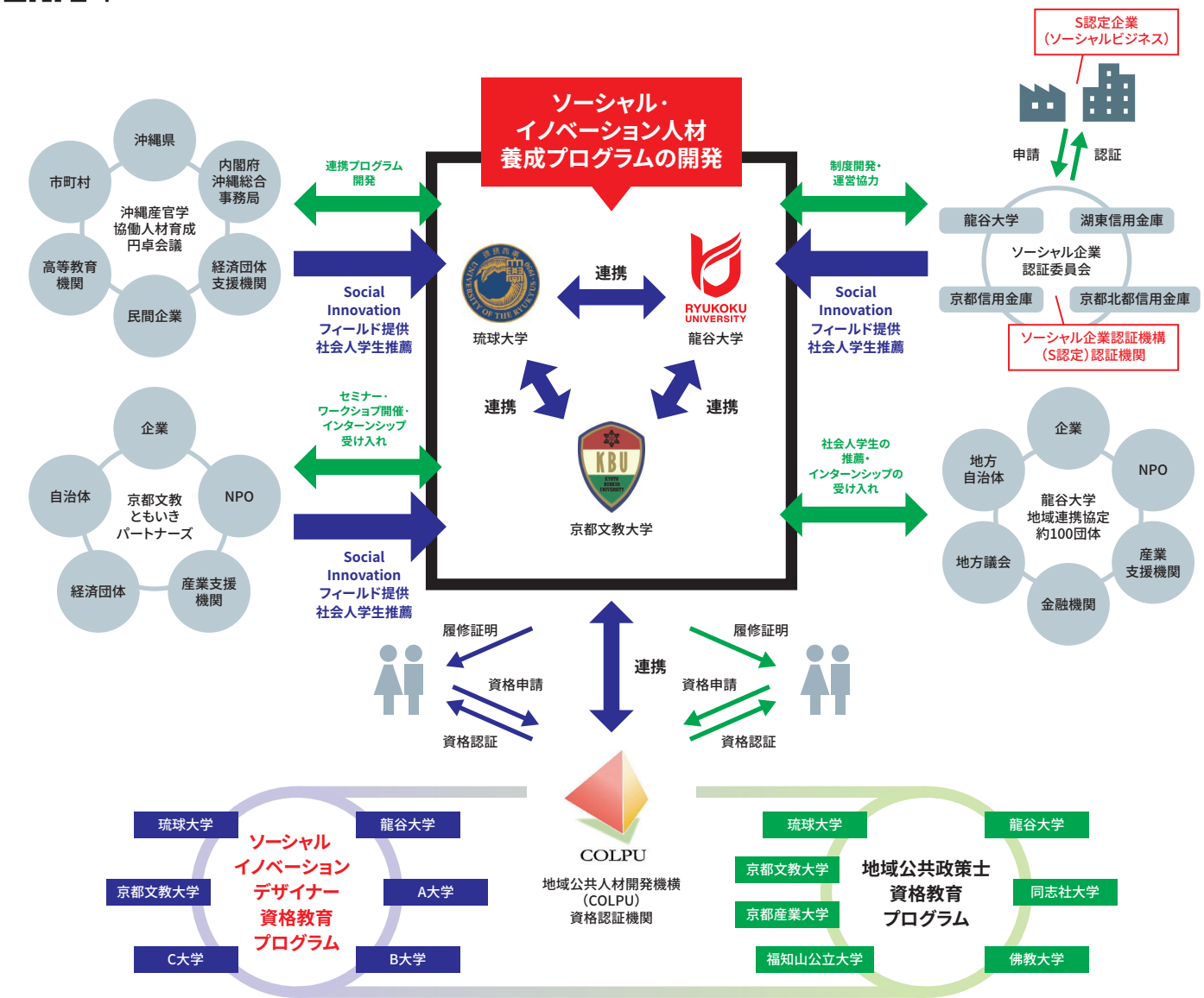
本事業は、人文・社会科学系の大学院が連携することで、単独では成し得なかった幅広く多様な知見を融合させたダイナミックな大学院教育を促進するものです。本学大学院政策学研究科と琉球大学大学院地域共創研究科、京都文教大学大学院臨床心理学研究科の3研究科によって、質保証のための資格認証制度の仕組みを確立し、「ソーシャルイノベーションデザイナー(SI-D)」資格認証制度を開発・運用します。

3つの大学院の連携によって、人文・社会科学系のほとんどの研究領域をカバーした高度で多様な知見の融合が可能になり、ソーシャル・イノベーションに必要な「社会課題の要因を多面的な視点から見抜く力」、「多様な領域の知見を組み合わせる付加価値を生む力」を持つ人材を養成していきます。

授業はオンラインを活用しながら、対面形式も取り入れたフィールドワーク(京都・沖縄)や報告会等を実施する予定です。詳細は「大学連携型ソーシャル・イノベーション人材養成プログラム」のWebサイトをご覧ください。



大学連携型ソーシャル・イノベーション人材養成プログラム Webサイト  
<https://www.policy.ryukoku.ac.jp/socialinnovationpro/>



大学連携型ソーシャル・イノベーション人材養成プログラム

## ソーシャルイノベーションデザイナーの養成

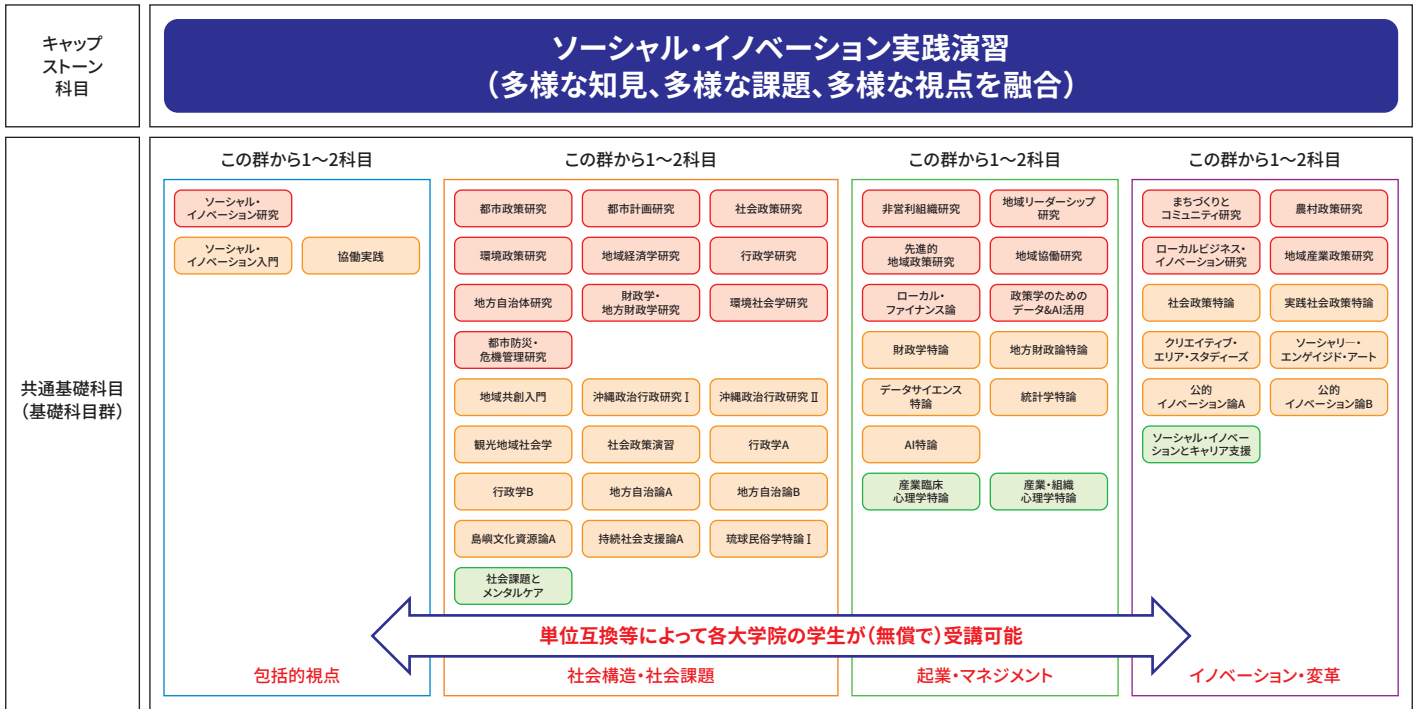
## 地域公共政策士<sup>※</sup>の養成

※地域公共政策士・・・地域や社会の中で実践的に活躍できる人材「地域公共人材」であることを証明する資格です。

# ソーシャル イノベーション デザイナー (SI-D) 資格制度について

ソーシャル・イノベーション人材のための職能資格です。認証された資格教育プログラムを修了し、資格申請すると「ソーシャルイノベーションデザイナー (SI-D)」資格が取得できます。学習アウトカムのレベルは、EUの教育・職能資格で用いられるEQFを参照し設定されています。SI-D資格はソーシャル・イノベーションで求められる能力を有していることの証明となります。基礎科目で10ポイント、キャップストーン科目で8ポイント、特別講義(一般財団法人地域公共人材開発機構提供)で2ポイントの修得が必要です(1ポイント=学習時間10時間)。

## 基礎科目群とキャップストーンプログラム オープン科目は他大学の学生がオンライン等で受講可能



# ソーシャル イノベーション デザイナー (SI-D) 資格取得に向けた履修モデル

※ソーシャル・イノベーション研究コース生(2年制)の場合  
 ※1年制の場合、1年間でこれらの科目の単位を修得する必要があります。

		1年生		2年生	
		第1学期	第2学期	第1学期	第2学期
必修科目	論文指導科目			「特別研究」	
	特別演習	「ソーシャル・イノベーション研究特別演習」		「ソーシャル・イノベーション研究特別演習」	
	(教育要素) 実践に資する実習・演習	「ソーシャル・イノベーション実践演習 (キャップストーン科目)」			
専攻科目	(教育要素) 包括的視点	「ソーシャル・イノベーション入門 (琉球大学提供科目)」		「ソーシャル・イノベーション研究」	
	(教育要素) 社会構造・社会課題	「社会課題とメンタルケア (京都文教大学提供科目)」		「地方自治体研究」	
	(教育要素) 起業・マネジメント		「非営利組織研究」 「ローカル・ファイナンス研究」		
	(教育要素) イノベーション・変革	「ローカルビジネス・イノベーション研究」	「まちづくりとコミュニティ研究」		

## キャップストーン科目について

「ソーシャルイノベーションデザイナー(SI-D)」資格制度においては、地域課題の原因からポテンシャルを見抜き、そのポテンシャルと多様な領域の知見を融合させて新たな価値を生むイノベーションに関する実践科目「ソーシャル・イノベーション実践演習」(PBL型キャップストーン科目)を開講します。

「キャップストーンプログラム」とは、1990年代に米国において考案された、公共政策・公共行政分野における実践的教育プログラムです。「キャップストーンプログラム」を通じて、学生は、大学、大学院における、これまでの学びの「総仕上げの、総合的な経験をやるプログラム」として、学士課程、修士課程まで学び積み上げてきた理論的知識を基礎に、応用として、社会の現実的な諸問題の解決に資する解決策を提示し、最終的に、実践プロセスについて評価を受けます。

このキャップストーン科目は通年科目とし、3つの大学が各課題を持ちより、オンライン授業を基本としつつ、フィールドワーク(京都・沖縄)や報告会等を実施します。3大学のこれまでの取り組みにより、京都・沖縄それぞれの地域における行政や経済団体、企業やNPO等との豊富なネットワークを構築しています。そのため、多様な地域課題のシャワーを浴び、地域課題を解決するために新たな価値を創出する能力を獲得できます。



## 地域公共人材総合研究プログラム推薦入学試験(協定先) 募集要項

地域公共人材総合研究プログラムでは、協定先からの推薦入学制度を独自に設けています。本入試は「1年制」での出願が可能で、入学試験は書類審査と面接で実施します。なお、学費相当額(入学金、授業料)が給付される奨学金制度を設けています(採用者のみ)。本入試は年に2回(11月と2月)実施します。

### 募集人員

研究科	修士課程(1年制)	修士課程(2年制)
政策学研究科	10名	5名

### 出願資格

次の(1)および(2)を満たしている者

- (1)「龍谷大学と(地方自治体及び関連団体)との地域人材育成に係る相互協力に関する協定書」に基づき、各団体より推薦された者
- (2)大学院での学修に相応する社会的経験を有している者

### 出願書類

- ①研究計画書(本学所定用紙)
- ②所属団体長推薦書(本学所定用紙)  
厳封されたものを提出してください。
- ③経歴書(本学所定用紙)

※所定の出願書類の他に適宜必要書類の提出を求めることがあります。

※いったん提出された書類は返却しません。

※出願書類に不備や虚偽の記載があった場合には受験できません。

### その他

- ・大学院入試(一般入試・社会人入試)も実施します。
- ・大学院入試の詳細については本学Webサイトをご覧ください。  
<https://www.ryukoku.ac.jp/admission/nyushi/>

